

輝く!地域へ飛び出すJET-ALT

取組の主体			取組の対象				地域の国際化			特色ある取組					
JET-ALT	任用団体	CIR等との連携	児童・生徒	未就学児	小学	中学	高校	教員	住民	異文化理解	地域活性化	多文化共生	長期休業中の取組	配置の工夫	デジタルツールの活用

No.24 JET-ALTによる市民向け英会話講座

実施時期：令和元年～現在
任用団体名：茨城県桜川市

取組のポイント

- 市民を対象に、場面に応じた簡単な英会話講座を開催し、英語に親しみを持ってもらう。
- フィリピン共和国から招致したJET-ALTが、簡単な英会話の他に、フィリピンの食べ物や服装の紹介といった文化的な交流も行う。

任用団体の基本情報

団体の人口：37,136人

※令和5年4月1日現在

JETプログラム参加者の人数：(ALT) 3人 (CIR) 0人 (SEA) 0人

学校数：小学校8校、中学校4校、義務教育学校1校

取組の背景・課題

本市で採用したJET-ALTは、自身の文化に誇りを持っており、学校での外国語教育の他にも、その文化を日本人と共有したいという思いを強く持っていた。

本市では、生涯学習課において市民を対象とした公民館講座を開催していることから、当該JET-ALTを講師として、1年間に8回程度の英会話講座を開催することとなった。

ほかにも、本市の国際交流協会でも、JET-ALTによる文化講座を開催し、フィリピンの国や食文化などについて、紹介を行った。

取組の内容

JET-ALTと英会話講座の回数や内容について話し合いを行い、公民館講座受講生の募集のチラシに掲載する。

- 英語を楽しく学んでもらえるように、簡単な英語を使った英会話を中心に講座内容を決めた。
- 講座の時間は90分で、参加者は、10人程度募集した。

国際交流協会でも、JET-ALTによる文化講座を開催し、簡単なクイズを交えながら、紹介した。



文化講座で食文化を紹介するJET-ALT

取組の内容（続き）

英会話講座では、あいさつや自己紹介、好きな食べ物、道案内、ショッピング、お祭りといった内容を扱った。

- ・ 日常生活で使う簡単な英会話を中心に実施。
- ・ 講座では、フィリピンの町の紹介や食べ物、お祭りの紹介を行うとともに、JET-ALTが実際に、フィリピンのお菓子を持ってきたり、民族衣装を着て披露したりといった触れ合いもあった。
- ・ 最後のセッションでは、本講座の一人一人がテーマを決めて、みんなの前で短いスピーチを行った。



民族衣装を着て食文化を紹介するJET-ALT



JET-ALTと英会話講座の受講生

取組の成果・今後の展望

英会話講座の参加者からは、非常に好評で、「また是非開催してほしい」といった声が非常に多かった。令和4年度で、4年目の開催となったが、4年間継続して受講している市民の方もおり、非常に人気の講座となっている。

文化講座では、受講した方から、フィリピンの習慣や言葉、文化などを、歴史的に理解することができたという声があり、好評であった。

こうした講座を実施するうえで、課題となったのは、受講生や担当課との連絡調整やコミュニケーション方法である。本市では、JETプログラムの担当者が行ったが、時間外に講座に出席し、サポートなども行っていたので、なるべく負担にならないように心がける必要がある。

※桜川市では、事業方針の変更に伴い、残念ながら、令和4年度（令和5年3月末まで）をもって、JETプログラムを終了することになる。

問合せ先

担当部署名：桜川市教育委員会学校教育課

T E L : 0296-55-1198

M A I L : gakkou_s@city.sakuragawa.lg.jp

U R L : <https://www.city.sakuragawa.lg.jp/>

